



# H3Cインテリジェントマネジメントセンターv7.3 iNodeインストールガイド(Windows)

New h3c Technologies  
Co.,Ltd.<http://www.h3c.com/hk>

ソフトウェアバージョン:iNode PC7.3(E0523)ド  
キュメントバージョン:5PW102-20180629

**Copyright(C)2015-2018,New H3C Technologies Co.,Ltd.およびそのライセンサAll rights reserved**

本書のいかなる部分も、New H3C Technologies Co.,Ltd.の書面による事前の同意なしに、いかなる形式または手段によっても複製または変更することはできません。

## **商標**

H3C、H3CS、H3CIE、H3CNE、Aolynk、H3Care、、IRF、NetPilot、Netflow、SecEngine、SecPath、SecCenter、SecBlade、Comware、ITCMMおよびHUASANは、New H3C Technologies Co.,Ltd.の商標です。

本書に記載されているその他のすべての商標は、各所有権者の財産です。

## **注意**

本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。本書の内容が正確であることを保証するために、あらゆる努力が払われてきましたが、本書に記載されているすべての記述、情報、および推奨事項は、明示または黙示を問わず、いかなる保証にも該当しません。

# 概要

iNodeインテリジェントクライアント(iNodeクライアント)は、Windowsユーザー向けのクライアントアクセスソフトウェアです。IMC EIAおよびEADセキュリティポリシーと連携して、アクセスユーザーの認証とセキュリティチェックを行います。iNodeクライアントは、ユーザー認証に次のプロトコルをサポートしています。

- 802.1X
- ポータル
- SSL VPN
- ワイヤレスプロトコル
- L2TP/IPsec VPN

このドキュメントでは、iNodeクライアントをインストール、操作、およびアンインストールする方法について説明します。

# iNodeクライアントのインストール

## サポートされるWindowsオペレーティングシステム

次のWindowsオペレーティングシステムは、iNodeクライアントをサポートしています。

- Windows XP
- Windows Server2003
- Windows Vista
- Windows7
- Windows8
- Windows10

## iNodeクライアントのインストール

iNodeクライアントのインストールでは、.exeおよび.msiインストールプログラムがサポートされています.msiインストールプログラムは、次のシナリオに適用されます。

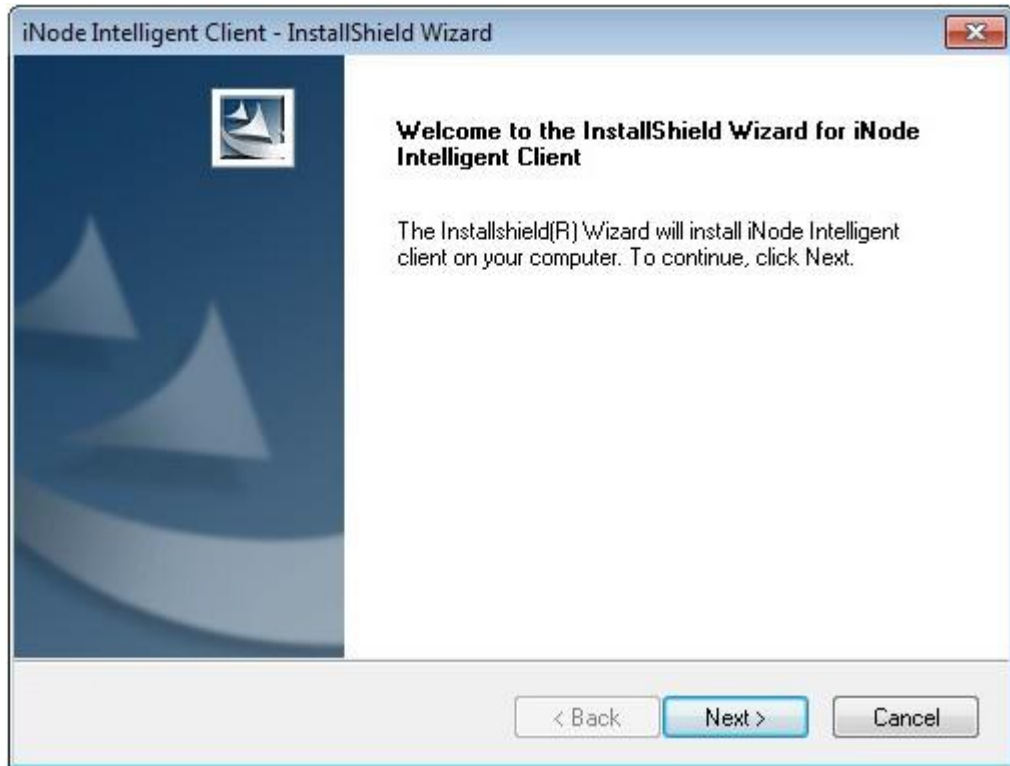
- iNodeクライアントのインストールプログラムを、ドメインコントローラを介してPCに一元的に配布します。 .msiインストールプログラムでSilent installationオプションが選択されていることを確認します。 H3Cでは、iNode管理センターでインストールプログラムをカスタマイズするときに、基本機能でEnable automatic rebootオプションを選択することをお勧めします。
- 管理者権限を持つユーザーは、msiexecコマンドを実行してiNodeクライアントをインストールまたはアンインストールします。

この例では、iNodeクライアントをWindows7にインストールする方法を説明します。iNodeクライアントは、同様の方法で他のWindowsオペレーティングシステムにインストールできます。

iNodeクライアントをインストールするには:

1. インストールウィザードを起動します。
  - a. 管理者に相談して、iNodeクライアントのインストールプログラムを入手してください。
  - b. Windowsオペレーティングシステムに管理者としてログインします。
  - c. 図1に示すように、セットアッププログラムをダブルクリックしてインストールウィザードを起動します。
  - d. Nextをクリックします。

図1 インストールウィザードの起動



2. **I accept the terms of the license agreement**を選択し、**Next**をクリックします(図2)。

図2 ライセンス契約への同意



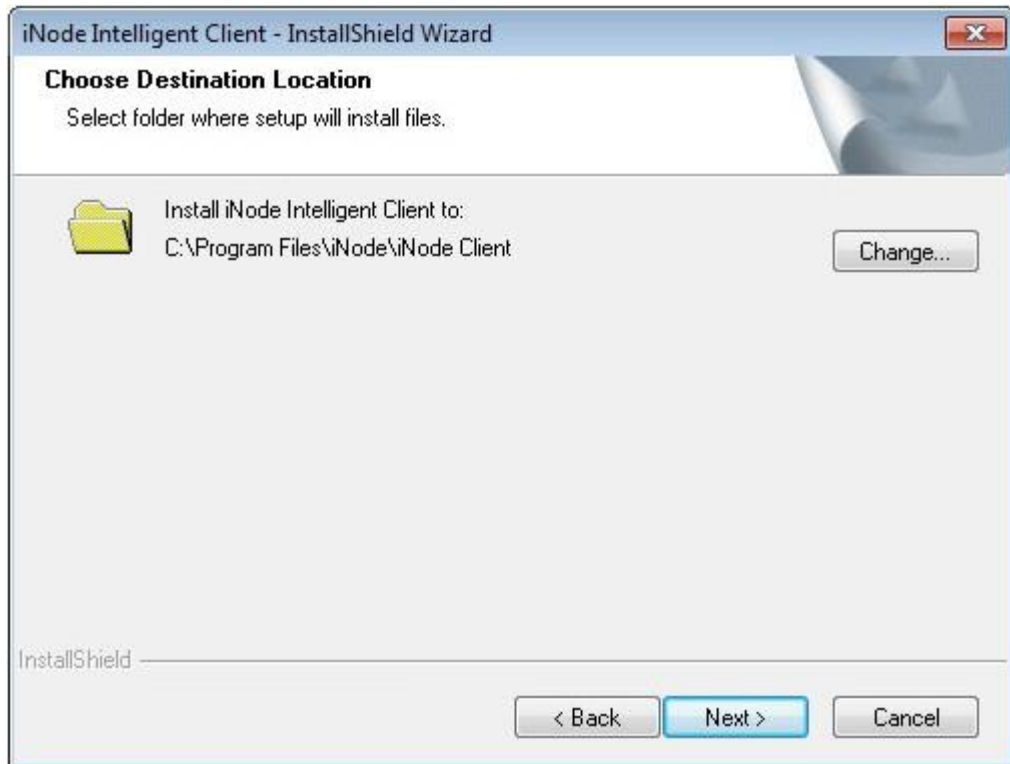
3. インストールパスを選択し、**Next**をクリックします。

デフォルトでは、iNodeクライアントはC:\Program Files\iNode\iNode Clientディレクトリにインストールされます(図3を参照)。

**注:**

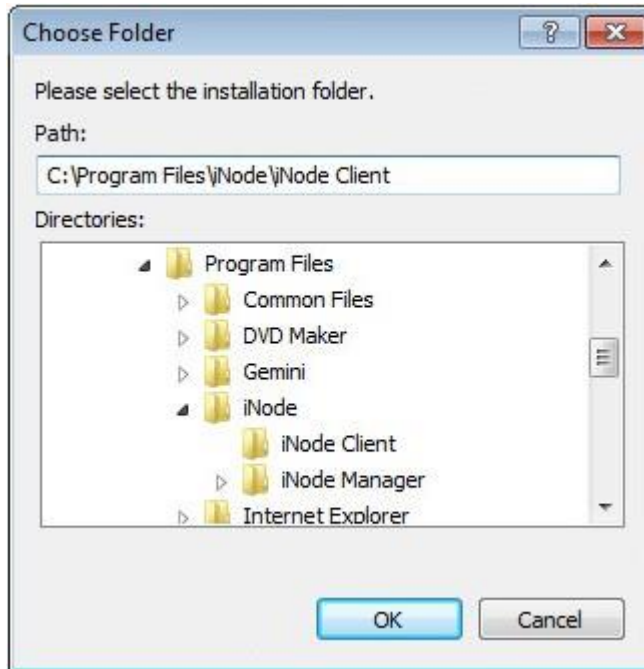
iNodeクライアントのインストールパスには、スラッシュ(/)、バックスラッシュ(\)、コロン(:)、アスタリスク(\*)、疑問符(?)、引用符(")、左山カッコ(<)、右山カッコ(>)、縦棒(|)以外の文字、数字、特殊文字を含めることができます。

図 3 デフォルトの宛先ロケーションの使用



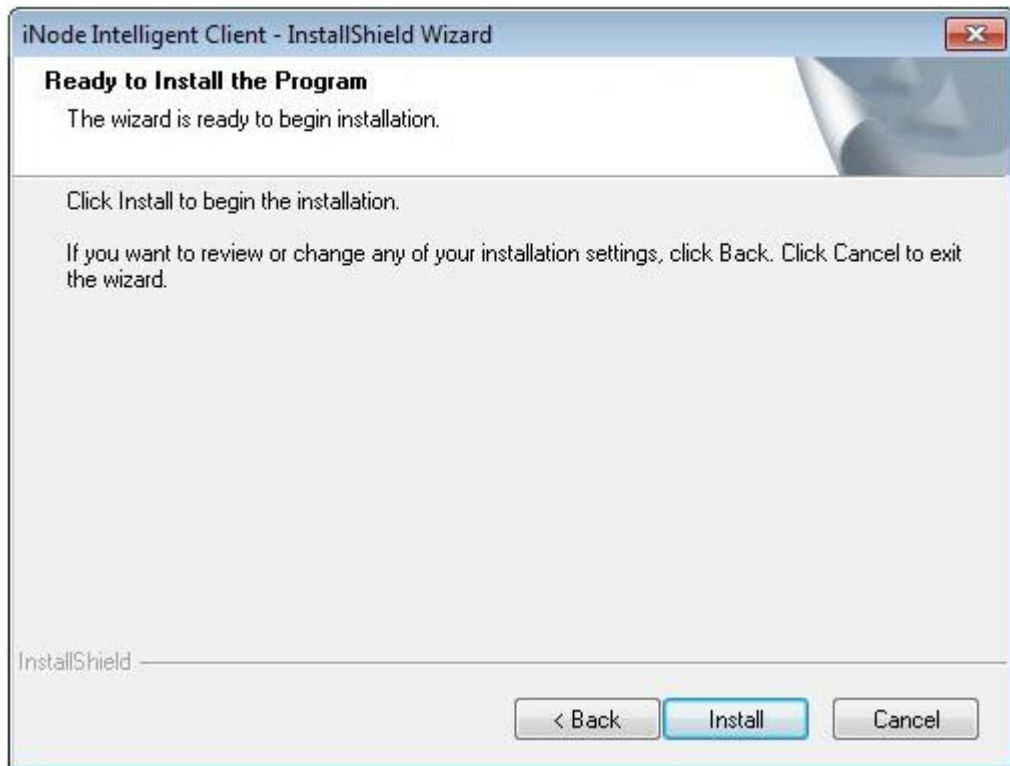
または、図4に示すように、**Change**をクリックして別のインストールパスを選択します。

図4 インストールパスの変更



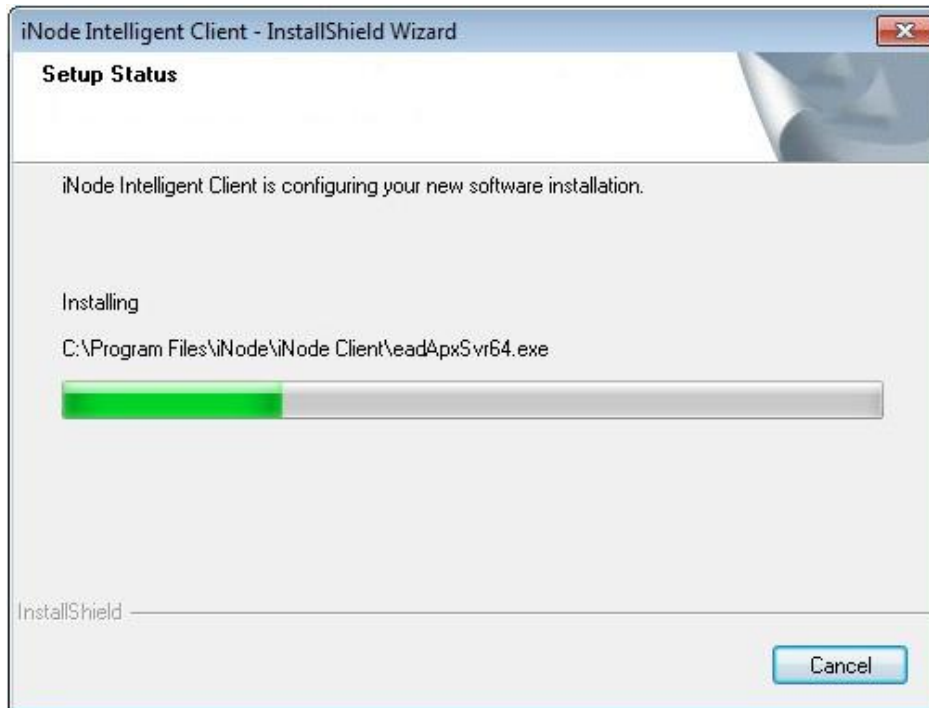
4. **Install** をクリックして、iNodeクライアントのインストールを開始します(図5を参照)。

図5 インストールの開始



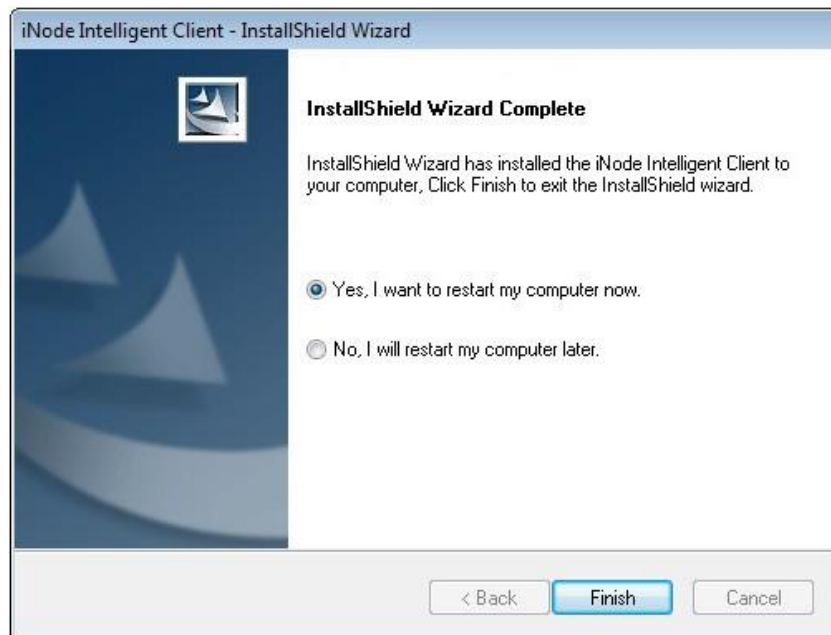
**Setup Status** ページには、インストールの進行状況が表示されます(図6を参照)。

図6 Setup Statusページ



5. 必要に応じてオプションを選択し、**Finish**をクリックします。この例では、図7に示すように、**Yes, I want to restart my computer now**オプションを使用しています。

図7 InstallShieldウィザードの完了ページ



6. コンピュータを再起動します。



# 認証のためのiNodeクライアントの使用

## iNodeクライアントの起動

次のいずれかの方法でiNodeクライアントを起動します。

- デスクトップ上のiNodeクライアントのショートカットアイコンをダブルクリックします。
- **Start**メニューから、**All Programs > iNode > iNode Intelligent Client > iNode Intelligent Client**を選択します。パスは、オペレーティングシステムのバージョンとスタイル設定によって異なります。

図8は、iNode管理センターによってカスタマイズされた次の接続を含むiNodeクライアントのメインウィンドウを示しています。

- ポータル接続
- 802.1X接続
- SSL VPN接続
- ワイヤレス接続
- L2TP/IPsec VPN接続

図8 iNode Intelligent Client



## ポータル認証のためのiNodeクライアントの使用 事前定義されたポータル接続を使用した認証

1. 図9に示すように、iNodeインテリジェントクライアントで、**Portal Connection**をクリックして**Portal Connection**領域を展開します。

図9 ポータル認証



2. 図10に示すように、**Server**フィールドの横にある**Refresh**アイコンをクリックします。

図10 拡張されたポータル接続領域



iNodeクライアントは自動的にポータルサーバーを検索します。

ポータルサーバーが検出されると、ポータル認証設定ウィンドウが表示されます。

3. 図11に示すように、次のパラメータを設定します。
  - a. **Username**フィールドにユーザー名を入力します。
  - b. **Password**フィールドにパスワードを入力します。
  - c. **Service type**リストからサービスタイプを選択します。

図11 ポータルの認証設定



4. **Connect**をクリックします。

ユーザーがポータル認証に合格すると、図12に示すように、認証結果ウィンドウが表示されます。

図12 ポータル認証結果



## 認証用のポータル接続の作成

iNodeクライアントに事前定義されたポータル接続がない場合は、認証用のポータル接続を作成します。

ポータル接続を作成するには、次の手順に従います。

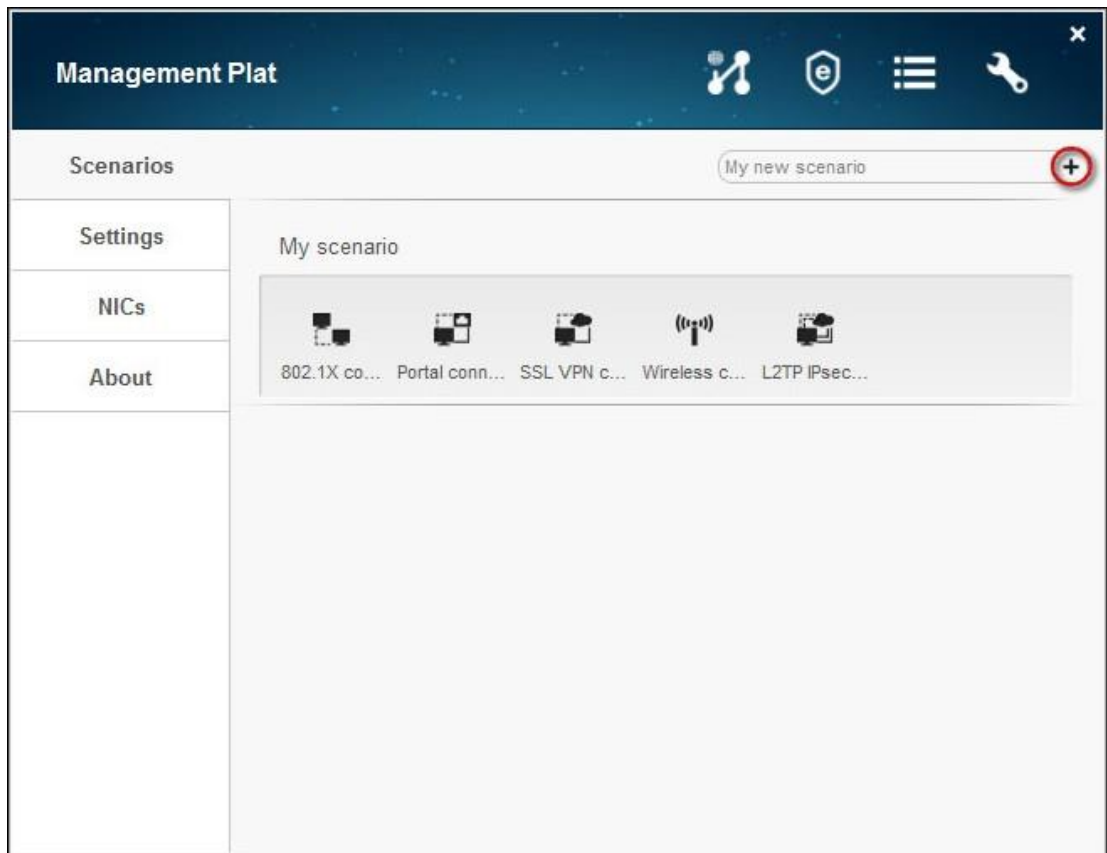
1. 図13に示すように、iNodeクライアントで**Management**アイコンをクリックします。

図13 iNode Intelligent Client



2. 図14に示すように、iNodeシナリオを構成するページで、**New**をクリックします。

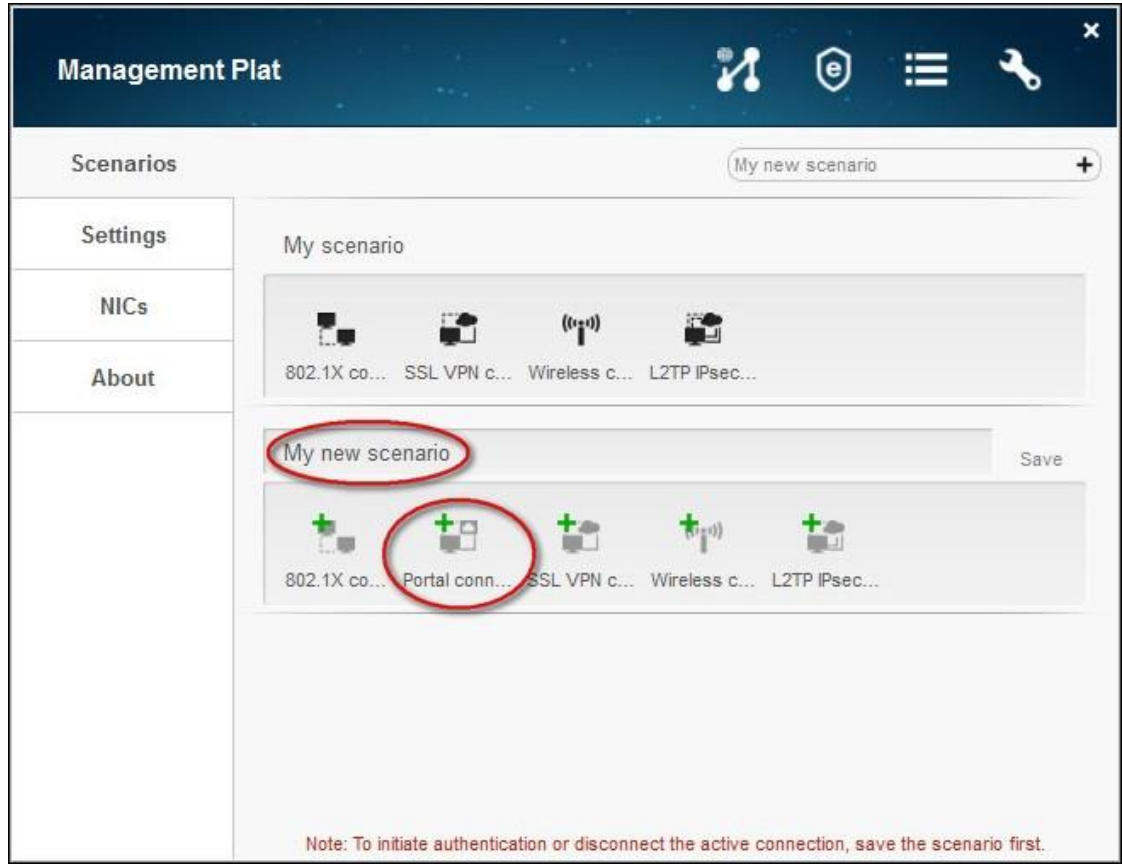
図14 シナリオ設定ページ



3. シナリオを追加するページで、シナリオ名を入力し、**Portal Connection**をダブルクリックします。

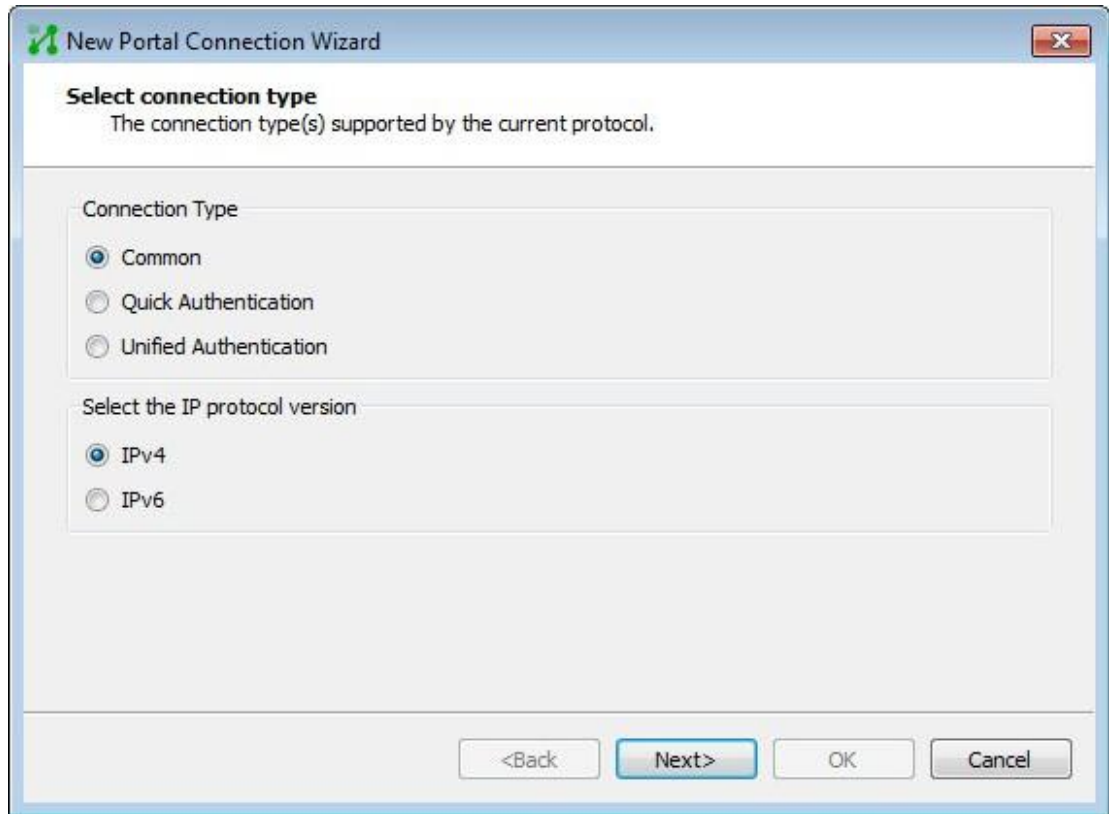


図15 シナリオの追加



4. **Select connection type** ページで、**Connection Type** に **Common** を選択し、図16に示すように、**protocol type** に **IPv4** を選択します。

図16 接続タイプの選択



5. **Next**をクリックします。  
**Account information**ページが表示されます。
6. 図17に示すように、次のパラメータを設定します。  
**Server**フィールドに自動的に入力されるIPアドレスを使用します。  
**Username**フィールドにユーザー名を入力します。  
**Password**フィールドにパスワードを入力します。  
**Service type**リストからサービスタイプを選択します。  
他のパラメータにはデフォルト値を使用します。

図17 Account Informationページ

The screenshot shows a 'New Portal Connection Wizard' window with the following details:

- Title:** New Portal Connection Wizard
- Section:** Account Information
- Instruction:** Input user name and password for network access, and certificate in order to enhance communication security.
- Fields:**
  - Connection name: Portal connection
  - Server: 192.168.0.164
  - Username: user001
  - Password: (masked with three dots)
  - Service type: domain of office
- Checkboxes:**
  - Save username and password
  - Automatic authenticate at startup
  - Upload version info
  - Clear ARP cache before authentication
  - Automatic reconnect after network is restored
  - Auto authN on a wireless network
  - Enable advanced authentication
- Dropdown:** Certificate Authentication
- Buttons:** <Back, Next>, OK, Cancel

7. OKをクリックします。


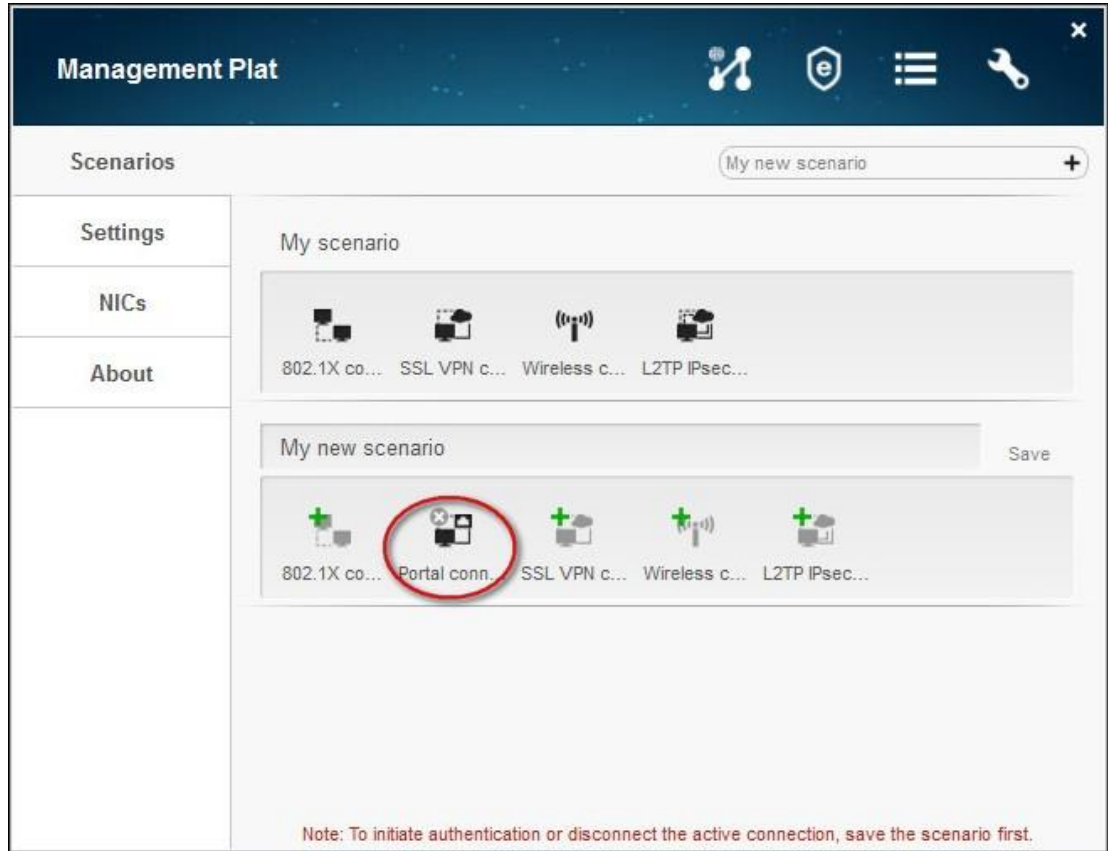
ポータル接続が作成され、**Management**ページで  が識別されます(図18を参照)。

図18 Managementページ

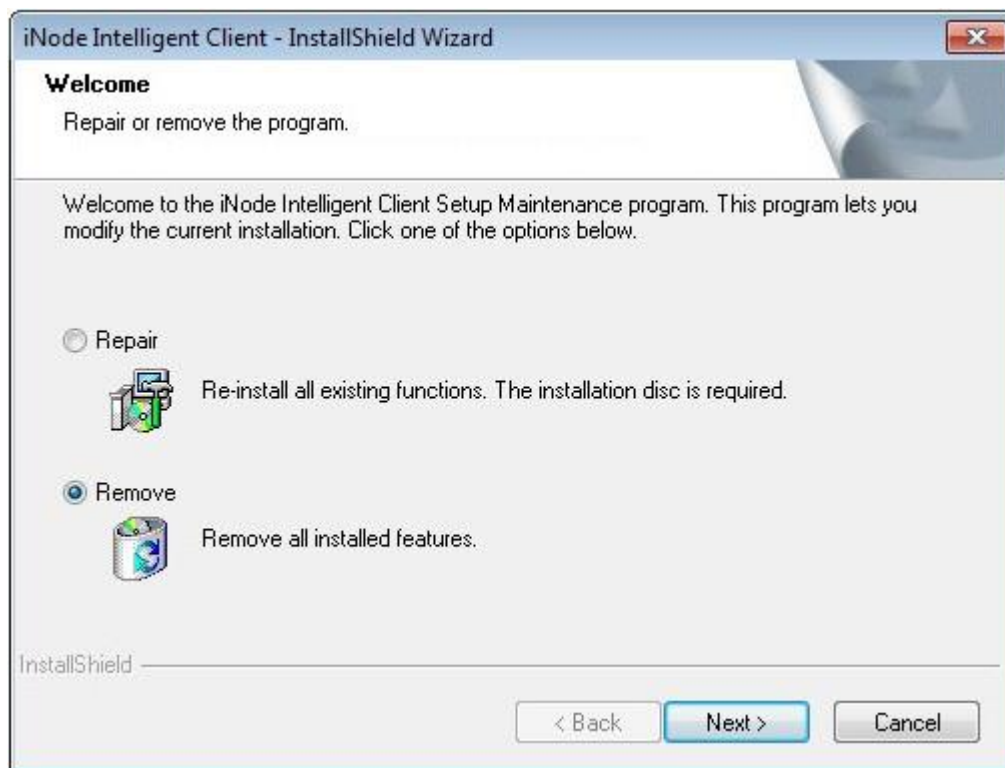


8. **Save**をクリックします。  
**Scenario**タブに**My new scenario**領域が表示されます。
9. ポータル認証をトリガーするには、次のいずれかの方法を使用します。
  - **My new scenario**でポータル接続アイコンをダブルクリックします。
  - ページ上部の**Network Access**アイコンをクリックします。認証ページで、**Server**フィールドの横にある**Refresh**アイコンをクリックしてポータルサーバーのアドレスを取得し、ユーザー名、パスワードおよびサービスタイプを構成し、**Connect**をクリックします。

# iNodeクライアントのアンインストール

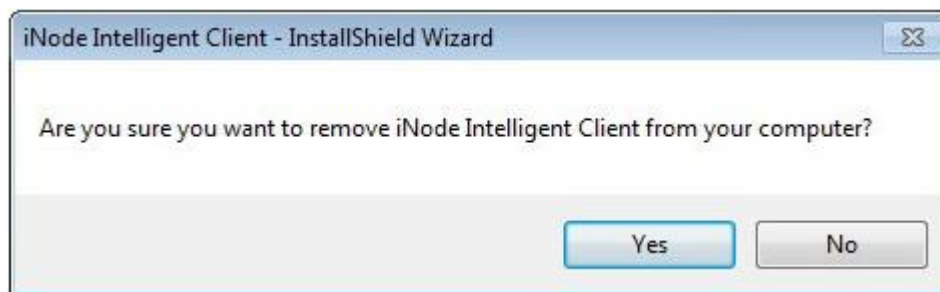
1. **Start**メニューから、**All Programs > iNode > iNode Intelligent Client > Repair**又は**uninstall iNode Intelligent Client**を選択します。
2. 図19に示すように、**Remove**を選択し、**Next**をクリックします。確認ダイアログボックスが表示されます。

図19 iNodeクライアントのアンインストール



3. **Yes**をクリックします(図20を参照)。

図20 アンインストールの確認



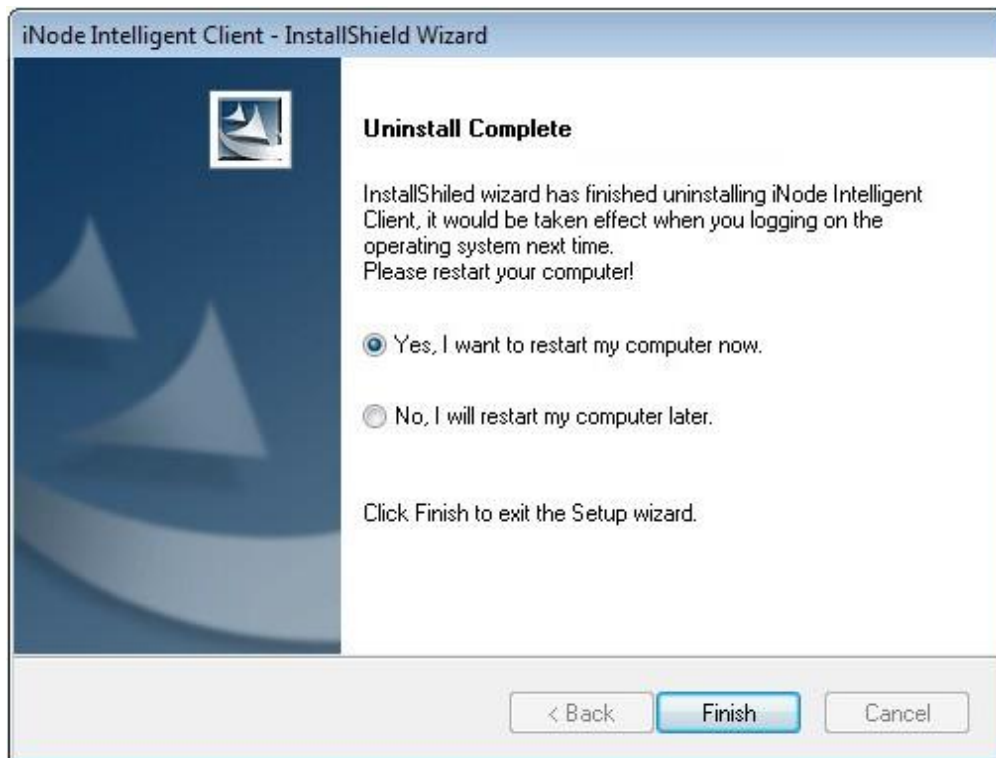
4. 図21に示すメッセージ・ダイアログ・ボックスで、**Yes**をクリックします。  
将来iNodeクライアントを再インストールする予定がある場合は、接続と設定を保存することをお勧めします。

図21 接続と構成の保存



5. 必要に応じてオプションを選択し、**Finish**をクリックします。この例では、図23に示すように、**Yes, I want to restart my computer now**オプションを使用しています。

図22 削除の完了



# よくある質問

## Windows VistaまたはWindows7またはWindows8へのiNodeクライアントのインストールとWindows XPへのインストールの違いは何ですか？

ユーザーアカウント制御を有効にしてWindows Vista、Windows7、またはWindows8にiNodeクライアントをインストールすると、**User Account Control**ダイアログボックスが表示される場合があります。[はい]をクリックしてインストールを続行してください。

図23 ユーザーアカウント制御ダイアログボックス

